

# オオキンケイギクの**駆除**にご協力ください

## ◎「オオキンケイギク」とは？

オオキンケイギクは北アメリカ原産の多年草です。

5月～7月頃にかけて、道端や河川敷で、鮮やかな黄色のコスモスに似た花を咲かせます。

もともと日本には無かった「外来生物」です。



## ◎どうして駆除するの？

在来の生態系を保護するためです。

オオキンケイギクは、とても繁殖力が強く、在来の野草の生育場所を奪い、生態系に悪影響をおよぼすことが分かりました。

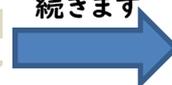
そのため、平成18年に『外来生物法<sup>※</sup>』に基づき『特定外来生物』に指定され、植えたり種をまいたりして拡げること、保管や運搬が法律に基づき禁止されました。違反内容によっては非常に重い罰則が科せられる場合もあります。

※「特定外来生物による生態系に係る被害防止に関する法律」

## ◎オオキンケイギクの見分け方は？

- 草丈は30cm～70cm程度
- 花期は5月～7月（地域によって多少の違いがあります）
- 花は直径5cm～7cmの頭状花（茎の一番先に1つの花が付く）で黄橙色  
※品種によっては花びらが八重のものや、花びらの基部が紫褐色のものもある。
- 花びらの先端が不規則に4～5つに分かれる
- 葉は細長いへら状で、対生（茎の両側に葉がある）である。
- 葉の両面には荒い毛があり、葉の周囲はなめらか（鋸歯がない）である。
- 葉の一番幅がある部分の幅は1cm程度。
- 成長がすすんだ葉は、3～5枚の裂片に分かれる。裂片は楕円形。

裏面に  
続きます



# オオキンケイギクの**駆除**にご協力ください

## ◎駆除の方法は？

- オオキンケイギクを見つけたら、「種」ができる前に下記の方法で駆除してください。
- ※根元から株ごと引き抜いてください。
- ※引き抜くのが困難な場合は地上部分を刈り取ってください。
- ※除草剤を使用できる場所であれば、除草剤による処理も可能です。
- ※多年草のため、刈り取った場合や根が残っていた場合は、また生えてきます。また、「種」は土中で数年間生き残るため、根絶するためには毎年根気よく駆除を続けることが大切です。

## ◎処分の方法は？

- オオキンケイギクは「外来生物法」で生きている状態での運搬が原則禁止されています。駆除後は下記の方法で処分してください。
- ※駆除したオオキンケイギクは、「種」や「根」を落とさないように袋に入れ、密閉するなどして枯らしてください。
- ※枯れたオオキンケイギクは、燃えるゴミとして処分してください。

## ◎その他注意事項等

- 知らずに栽培していた場合は、これ以上増やさないように、駆除・処分の方法に従って駆除をしてください。(報告等は必要ありません)
- 駆除・処分の際に「種」がこぼれ落ちないように注意してください。
- ※地区活動等で一斉駆除を計画する場合は事前に下記までご相談ください。

## ◎問い合わせ先

中之条町役場保健環境課(保健センター) (0279)-75-8834(直通)

表面も  
ご覧ください

